

第5弾『絵のあるまちづくり』

目的 地域の皆さんといっしょに公共施設の壁面などを活用し、絵を描くことで、地域の子どもたちに景観を「守る心」、「育てる心」を養ってもらい、景観保全、落書き防止などに結び付ける。

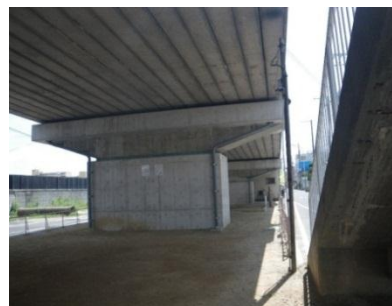
主催 景観市民会議「景観人の集い」

共催 東豊中自治会、和泉市立和泉中学校美術部、オレンジ保育園

開催日 平成25年10月24日（木）、26日（土）、27日（日）、11月16日（土）

場所 泉大津中央線高架下（高架下児童遊園）東豊中町三丁目地内

※この活動で使用した塗料は、日本ペイント株式会社から寄贈いただき、その他の経費は、深喜人材育成基金を使用いたしました。



5回目となった今回は、無機質だった公園内の橋脚をキャンバスに、地域の自治会、近隣の中学校、保育園など、延べ約270人が参加し、大人も子どもも楽しく絵を描きました。

今回の作品は、耐震補強工事により一回り大きくなった橋脚3本に、春・夏・秋をテーマにした大きな木を描き、季節感いっぱいの草花や動物などが、色鮮やかに描き込まれました。これまでは、緑のない薄暗い公園でしたが、地域の皆さんの手によって、明るい公園に仕上がりました。

壁画は、JR阪和線に面し車窓からもご覧になれます。お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



今回の参加者は東豊中自治会、和泉中学校美術部、オレンジ保育園の子どもたち、総勢約270人!!



「作業風景」～大人も子どもも～



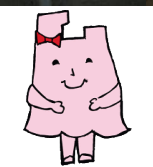
まずは、背景となる木を描きます。背の届かないところは、脚立に乗って、みんなで手分けして、春・夏・秋をイメージした大きな6本の木と青い空を描きました。

保育園の園児も、この日のために練習し、先生と一緒に描きました。

大人たちも、子どもたちに負けてはいられません。真剣に、そして楽しく描きました。



色づくりから絵の指導、そして、自らも壁画に参加し、大忙しの景観人。



いずみちゃん



おーつくん